

(2) 収支の見通し

① 正味財産の推移

令和3年7月策定の当初計画においては、計画期間中の正味財産額は、損益ベースで各年度平均約5億3千万円減少する見込みであったが、決算が確定した令和2年度から令和4年度までは、各年度平均約4千万円増加となった。また、令和5年度から令和7年度までの正味財産額については、各年度平均で約2億9千万円減少し、当初計画より約2億4千万円改善する見込みとなる。(下図左「正味財産の推移」参照)

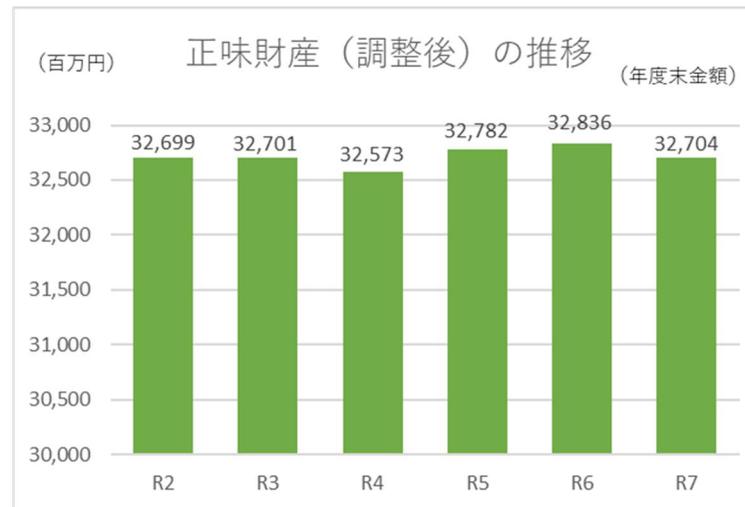
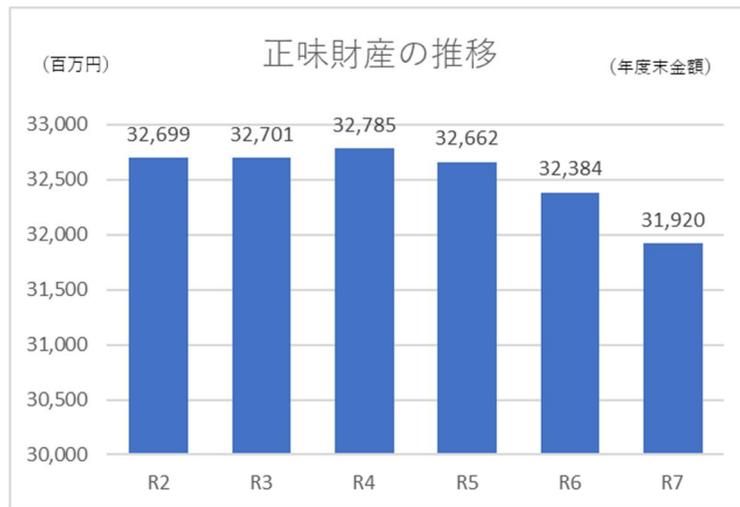
一方、令和5年度から令和7年度までの復元を要しない「密集市街地まちづくり活動支援事業(拡充取組み)」「減価償却費」(阪南2区埋立造成、近隣センター及び北千里の建物等)を除外した調整後の正味財産額は、各年度平均約4千万円増加する見込みとなる。(下図右「正味財産(調整後)の推移」参照)

調整後の正味財産額について、今後も引き続き、予算執行の厳格化の経費縮減等を図り、正味財産の維持に努める。

【正味財産の推移】							単位:百万円
	R2計画	R3計画	R4計画	R5計画	R6計画	R7計画	
現中期経営計画	33,435	32,915	32,384	31,906	31,350	30,797	
		R3-R2	R4-R3	R5-R4	R6-R5	R7-R6	
対前年収支差		△ 520	△ 531	△ 478	△ 556	△ 553	
対前年収支差(年平均)		△ 530		△ 530			
							
	R2決算	R3決算	R4決算	R5計画	R6計画	R7計画	
改定中期経営計画	32,699	32,701	32,785	32,662	32,384	31,920	
		R3-R2	R4-R3	R5-R4	R6-R5	R7-R6	
対前年収支差		2	84	△ 123	△ 278	△ 464	
対前年収支差(年平均)		40 (決算確定値)		△ 290 (R5~7計画値)			

【正味財産（調整後）の推移】

	R2決算	R3決算	R4決算	R5計画	R6計画	R7計画
改正中期経営計画	32,699	32,701	32,573	32,782	32,836	32,704
				R5-R4	R6-R5	R7-R6
対前年収支差				209	54	△ 132
対前年収支差（年平均）				40 (R5～7計画値)		



※R2～R4は決算数値